

授業科目	嚥下障害Ⅲ（事例・臨床）				
担当者	田上恵美子・戸倉晶子・糸田昌隆				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

摂食嚥下リハビリテーションの取り組みの実際について学ぶ
成人・高齢者における摂食嚥下障害の病態診断とリハビリテーションの具体的対応法、周辺事項への対応法

■ 到達目標

個々のケースについて評価し、訓練プランを立案できるようになる
病態別嚥下障害に関する臨床現場における具体的対応法の立案が可能になる

■ 授業計画

- 第1回 変性疾患の嚥下障害学概論（田上）
- 第2回 ALS 事例による嚥下リハの進め方（田上）
- 第3回 ALS 事例に対する意思伝達演習（空書・読唇・50音表・透明板・読み上げ法）（田上）
- 第4回 パーキンソン病事例による嚥下リハの進め方（田上）
- 第5回 多系統萎縮症・筋ジストロフィー・重症筋無力症などの事例による嚥下リハの進め方（田上）
- 第6回 ST 訪問訓練について、その実際と課題（田上）
- 第7回 訪問リハビリテーションにおける摂食嚥下リハビリテーションの実際
脳血管障害 軽度（症例呈示）（戸倉）
- 第8回 訪問リハビリテーションにおける摂食嚥下リハビリテーションの実際
脳血管障害 軽度（グループワーク、フィードバック）（戸倉）
- 第9回 訪問リハビリテーションにおける摂食嚥下リハビリテーションの実際
脳血管障害 重度（症例呈示）（戸倉）
- 第10回 訪問リハビリテーションにおける摂食嚥下リハビリテーションの実際
脳血管障害 重度（グループワーク、フィードバック）（戸倉）
- 第11回 訪問リハビリテーションにおける摂食嚥下リハビリテーションの実際
神経難病（症例呈示）（戸倉）
- 第12回 訪問リハビリテーションにおける摂食嚥下リハビリテーションの実際
神経難病（グループワーク、フィードバック）（戸倉）
- 第13回 成人・高齢者の正常嚥下の理解及び咀嚼の生理（糸田）
- 第14回 摂食嚥下障害への具体的対応法（糸田）
- 第15回 全身管理（サルコペニア・オーラルフレイル等）（糸田）

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

復習を行い、質問等で疑問点の解決に努めること

■ 教科書

書 名：ケーススタディ摂食嚥下リハビリテーション in DVD ～50症例から学ぶ実践的アプローチ～
著者名：里宇明元，藤原俊之監修
出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

書名：事例でわかる摂食・嚥下リハビリテーション 現場力を高めるヒント
著者名：出江紳一，近藤健男，瀬田拓編集
出版社：中央法規

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。